



バンコク便り



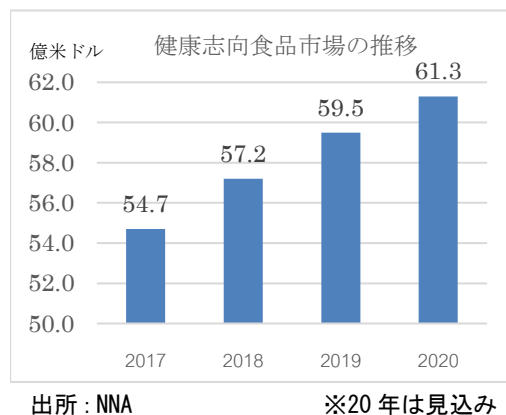
1. はじめに

10月22日、タイの乾季入りが発表されました。例年なら、観光のハイシーズンとして世界中から観光客が訪れる時期ですが、今年は難しい状況が続いています。そうした中、20日に上海から約40名が特別観光ビザスキームを利用し、観光客としては約7か月ぶりにタイへ入国しました。今後も感染リスクが低い国からの受け入れを拡大していく方針のため、隔離期間の短縮なども検討されているようです。

2. 当地ビジネス情報

(①タイの健康志向の高まり)

新型コロナウイルスの影響で、タイでは都市部を中心に食の健康志向が高まりつつあり、大手小売店では健康に配慮した食品専門店を開業する動きが出てきています。屋台がたくさんあり、外食する人が多いですが、最近のスーパーなどの賑わいを見ると、自炊をする人が増えてきている印象を受けます。約9割が共働きと言われ、手間をかけずにすぐ食べられる食品・食材はニーズが高いと言えそうです。



(②FBC バンコク WEB 商談会 開催)

10月28日、29日の2日間で製造業向けイベント「FBCバンコクWEB商談会」が開催されました。本商談会にはカシコン銀行及び荘内銀行の他、全国の地銀や機関、約35団体が協力し、初めての取り組みとしてWEB商談を中心に「FBCハノイものづくり商談会2020」と同時開催されました。

出展企業の中にはWEBに加えて直接面談を希望する企業も多く、バンコク市内にリアル商談会場を設けた、2つの切り口での商談会となりました。参加者からは「タイ企業だけではなくベトナム企業との接点を持たせたい」、「やはり直接商談できるのはありがたい」などの声が聞かれました。

国内外での営業活動が制限される中、今回のようなWEBを中心とした商談の需要は今後も高まってくると予想されます。荘内銀行ではお客様の販路拡大へのきっかけをご提供すべく日々取り組んで参ります。下記、荘内銀行営業推進部までご相談ください。



商談会場風景

3. 現地トピックス

(タイでの政治集会について)

ここ最近、タイ国内各地で政治集会が開催されています。先日もバンコク中心部に大勢が集まり交差点が封鎖される一方で、少し離れた場所は普段と変わらない状況で、温度差もあります。週末には一時、バンコク中心部を走る高架鉄道 BTS も全駅封鎖となりましたが、集会自体は暴力的なものではなく、危険を感じることはありません。営業時間短縮などの措置を取る商業施設もありましたが基本的には営業を継続し、その他経済活動が止まるという見方は少ないです。しかしこのような状態が続くと、多くの産業への影響が懸念されるため、長引かないことを願っています。



普段と変わらぬ様子の
集会付近のテラス席

【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム (在バンコク)